

～ ちいきで暮らすということ ～

理事長 奥山 葉月

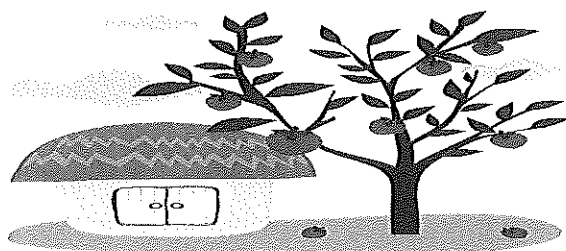
当センターは障害種別を問わず、またどんなに重い障害があっても、「地域で暮らすこと」を旨として活動してまいりました。団体設立当初である22年前、障害者は大型施設に収容されるか、自宅で家族が介助を続けるかの選択肢しかない状況下では、このような理念は珍しいものでした。障害者が地域で暮らすための制度やサービスもなく、「自分たち障害者に必要なサービスを提供する」というスローガンを元に24時間365日介助派遣や、リフトカーでの移送サービスを行なっていました。

2013年9月24日に行なわれた「社会保障審議会障害者部会(第51回)」では、障害者総合支援法で定められている「重度訪問介護の拡大」とケアホーム、グループホームの一元化が議論されました。

「重度訪問介護の拡大」とは対象者を「重度の肢体不自由者その他の障害者であって常時介護を要するものとして厚生労働省令で定めるもの」とされているものを、厚生労働省令において、現行の重度の肢体不自由者に加え、重度の知的障害者・精神障害者に対象拡大するというものです。このことは自立生活センターをはじめ、障害者団体の要望から変更されることとなった大きな成果のひとつです。

この拡大がうまく機能すれば、これまで長時間介助が認められず、単身生活が不可能とされていた、またあきらめていた重度の知的障害者・精神障害者の仲間も施設ではなく、地域で一人一人にあった生活が築けることになると大きな期待を寄せています。

時代が変わり「地域で暮らす」という言葉もめずらしくない社会となりました。しかし、障害のある人は生活、就職、移動、余暇など、まだまだあきらめることも多いのも現実です。当センターでは、あきらめてきた気持ちに共感し、寄り添いながら、その方の「地域」づくり、「暮らし」づくりの挑戦をお手伝いしてまいります。



<相談業務>

上半期は約900件のご相談を頂きました。相談内容としては、対人関係や金銭管理、健康管理などの相談が多く寄せられました。その他、サービス利用計画作成に關しての問い合わせも徐々に増えています。このような中、HLとして、円滑な計画相談が進められるよう、障害福祉課と合同で11月に説明会の開催を予定しています。

<その他事業>

○ 自立支援協議会

新たに出来た「権利擁護・相談支援専門部会」では、今年度の計画として、「知的・身体障害のある方向けの社会資源をまとめたパンフレット作成」と「サービス事業所を対象にした研修会(11月29日)の開催」が決まりました。

その他、サービス利用計画作成の状況や課題の整理、困難事例の検討を取り入れた指定特定相談事業所のスキルアップ研修会の開催など、立川市の福祉向上に活かせるような検討も進めています。

○ 事業所連絡会

25年度第1回事業所連絡会を6月13日に開催しました。今年度から新たに事業所連絡会で職員、ヘルパー向けの研修会などを担っていくにあたり、立川市内に事務所がある事業所を中心に研修の企画や準備、当日の進行などを行なってもらうことになりました。

2013年度 立川市障害者週間イベント ～小さな手と手 つないでつくる 私たちの未来～

立川市では障害のある人の福祉について理解を深めていただくことや、障害のある人の社会参加を進めることを目的として、毎年障害者週間のイベントを開催しています。福祉ホットラインでは今年度も実行委員会に参加し事務局を務めております。今回は他機関との共催などを含め、様々な会場で企画を行ないます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

○ 映画上映会「最強のふたり」 12月8日(日) 13時15分開場、13時45分開会

女性総合センターアイム 1階ホール

入場無料。 ※申し込み方法など詳細につきましては、別紙はさみ込みチラシをご覧ください。

○ 展示・体験・相談会 12月3日(火)～9日(月)

子ども未来センター 地下ギャラリー、第1・2アトリエ

・市内小学4年生が描いた「障害者の絵」の展示

・福祉機器の展示・相談

・市内福祉団体のパネル・作品展示

・福祉ホットラインのピアカウンセラーによる相談(14時～16時)など

○ 「かぞく市」多摩の健康・介護・医療展への出展 12月6日(金)～7日(土)

昭和記念公園 花みどり文化センター

○ 社会保険労務士による障害年金相談 12月7日(土)～8日(日)

柴崎学習館 第1・2教室

要予約。詳細につきましては、福祉ホットライン(042-526-1418)までご連絡ください。

(鶴園 誠)

ちいきせいかつしえん 地域生活支援センター・パティオ

< 2013年度上半期・事業報告 >

2013年の前期は例年通り、包括的な相談の窓口として病状の安定に関する支援や、生活状況の整理やその方にある社会資源の見立て、生活に関する目的別のプログラムに力を入れました。また立川市では計画相談も本格的にはじまったことを受け（2013年10月には母体である自立生活センター立川も特定指定相談事業所を開設）、それに伴い、パティオでもヘルパーの利用や就労継続B型、就労移行などの通所施設、グループホームなどの利用が決まった方はサービス計画の作成が必要となり、特定指定相談事業所の利用支援および当該事業所と連携しての支援が多くなりました。めまぐるしい制度の変化もありますが、パティオでは今後も丁寧な対応で継続性のある支援を行ないたいと思っています。

① 相談支援

登録者数97名（2013年9月末）

関係機関の紹介や連絡調整、日常生活に関する総合的な相談を行ないました。包括的な相談のほか、今年度半期の特徴としては、新規の方の年金申請に関する相談やパティオのアセスメント・プログラムを利用し終えた方が通所資源につながるための支援が多いこと、合併症の併発や加齢、家庭の状況の変化に伴い、住まいや金銭面、転院に関する支援が目立ったこと、特定指定相談との連携が本格化したことがあげられます。

・延べ人数 面談・・・627件 電話・・・4580件 訪問・・・270件 関係機関調整・・・168件

② プログラム

昨年までに引き続き、通所資源利用の足がかりとなることを目的とした「アセスメント」機能を重視したプログラム活動のほか、5月からヨガが隔週の定期プログラムとして、マナブとケイコはダイエット（6月～7月）、口腔ケア（9月～10月）と『身体の健康』をテーマにしたプログラムに力を入れています。また開所当時から毎週木曜日開催されていた夕食サービスは『月1食ベナイト』にかたちをかえています。日数を減らしたことで人が集まり易くなり、ゲームやおしゃべりにと交流が以前よりも活発になりました。各プログラムをその方にあった組み合わせと一緒に考えて提供することで、支援の充実を図っています。

オープンスペース・・・計586人／128回 レディースデイ・・・計50人／12回

出るデイ・・・計179人／13回 お茶の子はいさい・・・計120人／23回 I L P・・・計83人／10回

月1食ベナイト・・・計60人／5回 講座プログラム・・・計41人／6回 ヨガ・・・計122人／10回

③ 普及啓発

●ニュース発行・・・計300部／3回 ●講座講師受入（ヨガ、口腔ケア、健康教室）・・・計12回

●精神保健福祉実習生・・・計1名 ●看護実習・・・6名 ●障害者通関実行委員

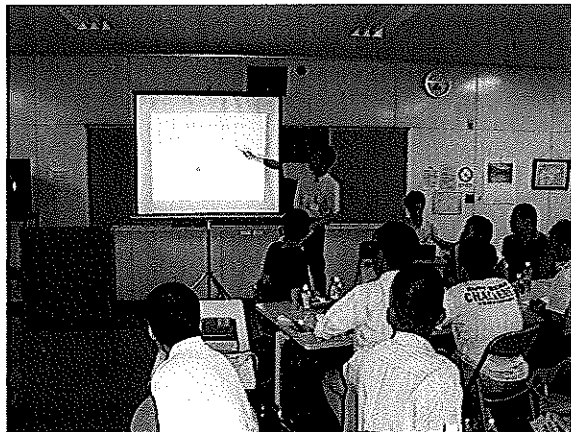
●当事者による退院支援グループ（りらく立川）への支援協力・・・多摩あおば病院訪問6回 定例会6回

●楽市（立川しみん祭）への参加と協力 ●明治学院大学への当事者講師派遣コーディネート

< 立川市および市内関係機関との会議 >

立川市精神障害者グループホーム連絡協議会 地域精神保健福祉専門部会委員 立川市精神保健福祉
業務連絡会 たちかわ退院支援会議 たちせいれん 地域生活支援センター多摩ブロック会（T T N）
地活連
（文責：遠藤雅子）

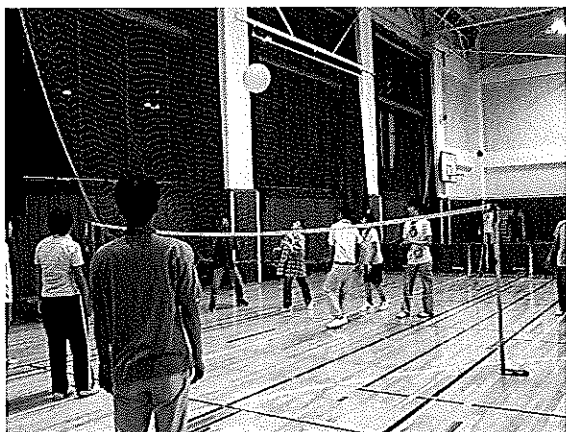
新規利用登録者は18名(知的障害12名、精神障害3名、身体障害1名、重複障害2名)でした。新規の利用相談は増加傾向にあり、発達障害に関連した課題をお持ちの方が目立ちました。特別支援学校高等部等の新規学卒者は、4校から9名が登録されました。新卒者の受け入れをスムーズに行えるよう、毎年関係各校に当センターの利用登録の流れを書面でご案内しご協力を頂いています。就職は17件、離職は7件でした。離職者のうち2名は再就職されました。また4月からの雇用率改定に伴い、事業所からの支援依頼が増加しています。初めて雇用するケース、更に増員を図るケースなど、それぞれの事情に応じた支援を行っています。準備訓練プログラムでは、高齢者施設清掃実習に4名、市役所庁舎実習に8名が参加しました。



お楽しみ会 生活講座

その他のプログラムでは、夕食会(知的障害者対象)の取り組みを今年度から見直しました。毎週木曜日行ってきましたが、第三週目をお休みとしました。また当団体が行っていた調理を、弁当業者に外注することにしました。なるべく健康的なメニューで、変化も楽しめるように考え、2ヶ所の業者さんをお願いしています。お楽しみ会(知的障害者対象)は6月に生活講座、9月に「スポーツ大会」を行いました。生活講座では「交通ルールと自転車のマナー」について、立川市交通対策課の方からご説明を頂き理解を深めました。自転車などの危険運転が社会問題になるなか、道交法の改正があり、自転車通勤する従業員に指導する企業も出てきました。ご本人たちに、通勤に限らず日常生活でも、法改正を踏まえ安全運転を心がけて頂くよう企画しました。交通対策課からは動画やクイズ形式など、分かりやすく説明をして頂き、皆さんにも大変参考になりました。また「スポーツ大会」では体育館でバスケット、バドミントン、風船バレーや玉入れなどを行いました。楽しく運動し、日頃のストレス発散ができました。閉会式では明日から一層仕事に励むことを全員で確認しました。事故もなく安全に実施できましたが、翌日筋肉痛になった方もいたようです。また茶話会(精神障害者対象)を8月に開催し、「計画的な休暇の取り方」というテーマで話し合いました。参加者それぞれの職場や業務の状況を報告し、体調の安定を図るための自分なりの上手な休暇の取り方について話し合いました。他の方々の話を聞くことで、視野が広がりました。他の方々の話を聞くことで、視野が広がりました。

地域ネットワークについては、自立支援協議会などを通して、地域の就労支援の連携強化を図っています。また多摩地域就労支援センター連絡会では、今年度幹事会のメンバーを交代しました。全体会では、「特別支援校からの新卒者の支援移行」や「発達障害の方への支援」などのテーマで事例報告や意見交換を行いました。下半期も引き続き、頑張って支援業務を進めて行きたいと想います。(井上 貴央)



お楽しみ会 スポーツ大会

◆ 職場紹介 PART 17 - 株式会社 ヤマコ -

今回の訪問先は地元の食品工場、株式会社ヤマコです。昭和17年の創業から麺づくり一筋、現在は主にコンビニで販売する調理麺を365日製造しています。季節による製造量の変動が大きく（夏場は冬場の4倍）、それに伴って従業員の人数や勤務時間も変動する職場環境です。

これまでも障害のある方を雇用されていましたが、障害者求人をハローワークに出し、支援機関活用を検討するなど、受け入れ体制を整えて意識的に取り組まれたのは、昨年5月からです。年々厳しい衛生管理が求められる食品工場で、ユニフォーム着用や手洗いのルールが守れるかなど、不安をお持ちでした。

そのハローワーク求人に応募し、昨年6月から資材部で働いているのが、浜口佳久さんです。それまでパンの製造販売店で働いていましたが、勤務日数と時間が減ったため、もっと稼ぎたいと転職を希望していました。手先を使う細かい作業は苦手ですが、おしぼり工場で長年働いた経験もあり、細い体にもかわらず持久力・体力を要する作業を得意としています。

浜口さんの業務は、主に製造に使う資材（小麦粉等の原材料やスープ、トレーなど）を倉庫に運んだり、バットと呼ばれるトレーを機械で洗浄することです。運搬は、資材を載せた台車等を狭い通路で慎重に押すという、かなり神経を使う作業です。洗浄は蒸気や熱水を使うため、とても暑く、大量の汗で一日に何度も着替えが必要な作業です。勤務は週5日で、午前7時からスタートし、冬は16時に終了しますが、夏は19時近くになることもあります。時々「疲れました」と電話報告を受けることがありますが、声には充実感が感じられ、「大丈夫ですか？」とたずねると、必ず「平気です」という答えが返ってきます。

入職にあたっては繁忙期にさしかかっていたこともあり、支援者がジョブコーチとして2週間程度張り付いて、着替え、手洗いから業務手順まで根気よく指導しました。作業指示がないと不安になること、怒鳴るような大きな声は苦手など、本人の障害特性や指導方法をていねいに伝え、職場での配慮をお願いしました。特に障害者雇用担当の方には、本人からの訴えや相談、支援者からの連絡やアドバイス等にもすぐ対応していただき、今では声のトーンや表情で本人の気持ちがわかると言われます。

現場の上司の方からは、「求めすぎないこと、できることを任せるよう気をつけていきたい。最近、積極性が出てきた、今のまま継続してもらえればよい」と本人への理解と評価をいただいています。

障害のある人が苦手な変化の多い職場になんとか適応できているのは、本人の努力もさることながら、支援機関を上手に利用していただけていることが重要なポイントかと思います。今後も会社様、ご家庭との連携を大切に、浜口さんの職業生活がより豊かに続けられるよう支援していきたいと思っています。（白部貴子）



資材の運搬



バット洗浄

■ 「男性の車いすでのファッション」をテーマに、おしゃれに役立つ男性ILプログラムを行ないました。(6月4日)

男性の車いすユーザーを対象に、どんな服装やコーディネートがおしゃれなのか、また仲間の工夫を聞き合うことを目的としたプログラムを行ないました。はじめに、参加者で高島屋にあるユニクロを訪れ、ふたり1組になって相手に似合うTシャツを購入し、“いつもと違うファッション”を体験しました。また、講師としてファッションコーディネーターのピロ・レーシング長屋宏和さんをお招きし、おしゃれの仕方についてアドバイスしていただきました。具体的なお話として、車いすで裾そりがしやすい箇



いジーンズを履きたければ、お尻の部分だけ柔らかい生地を縫い合わせたり、格好の良いスーツを着たければ、胸部が盛り上がった腹股部がしわにならないよう調整して作るといった方法があることを知りました。「着たい服があれば、難しくともリメイクして諦めない!」という言葉は、障害があり車いすを使う仲間への熱いメッセージとなりました。さらに、おしゃれに気を遣うことは、衛生的になり、健康面の向上にも繋がることを知る機会となりました。(大石幸治)

■ 講演会「障害者差別解消法の意味と課題～立川市障害者差別禁止条例制定に向けて～」を開催しました。(8月10日)



「障害者差別解消法」について、東俊裕氏(内閣府障がい者制度改革推進室室長)を講師にお招きし、講演会を開催しました。当初、この講演会は「障害者差別解消法」の国会審議が秋に予測されていたので、国会での「差別解消法」制定に向けた地域啓発活動の一つとして予定していましたが、予測に反して6月19日に国会で「差別解消法」が成立しました。

この理由には、東氏も講演会で「政権が変わって差別解消法の制定が停滞するかも知れないと思っていたが、与党の国会議員の方が積極的に法案成立へ動いてくれました。」と自民党と公明党への感謝も含めて背景をお話していただきました。

「差別解消法」が早期に国会制定した後の、今回の講演会は立川地域での障害者運動にとっては、新たな記念になる日となりました。

今、立川市の中では障害当事者団体を中心に「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」を4年前に作り、立川市独自の障害者差別禁止条例を作ろうと準備をしてきました。そして、今講演会開催の8月10日に立川市障害者差別禁止条例制定に向けた市議会請願の署名を開始する日にすることができました。

講演会の最後に「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」代表の野々久美子さんより、今までの経過と署名のお願いの挨拶もあり、今後の立川市差別禁止条例制定に向けた決意表明の場にもなりました。



講演会の内容も東氏より「差別解消法」の差別とは何か、3年後の法律施行に向けた準備プロセスな

どを聞き、会場からも多くの質問や意見が出てきて熱気ある講演会になりました。

また、今講演会は当団体としてパソコン要約筆記、手話通訳など情報保障を充実させて、聴覚障害の方などの参加もしていただきました。「差別解消法」の求める合理的配慮を深めていく第1歩となりました。(野口俊彦)

■ 防災セミナー「今わたし達に準備出来ること～被災障害者の体験から考える～」を開催しました。 (9月13日)

いわき自立生活センターの小野和佳さんにお越し頂き、被災した障害当事者の立場から見える、考える防災準備についてお話し頂きました。

当日は地域の障害当事者やその関係者、防災に携わる方など50名以上の方にご来場頂きました。また、地域の防災に大切なテーマとしてマイテレビにも取り上げられ、会場は熱気に満ち溢れていました。

そんな中、講師の小野さんからは、3.11東日本大震災の体験談や、被災後の動き、教訓など、様々な視点からお話を頂き、また防災に関する提案が出されました。

新たに組みんでいきたいこととして「被災時の介助を想定した、自身が必要とする介助の発信」、続けていく取り組みとして「地域のひととの繋がり強化」を強く感じました。(鈴木徳子・大石幸治)



知的事業

— 2013年度上半期 プログラム報告 —

今年度も知的障害当事者の内山さん・泉口さんにご協力いただき、プログラムの実施や取材を行なっています。

■ みんなで理想のお部屋を考えよう！プログラム【8月3日(土) 参加者4名】

これからの自分の住まいや暮らしかたについて考えてみようという目的のもと企画しました。

住みたいお部屋の条件について考えたり、画用紙に間取りを描いてイメージを膨らませ、家具や家電の写真ピースを置いて参加者の方それぞれの理想のお部屋を完成させていきました。最後に、自分が工夫したポイントを発表していただきました。

参加者の声：

「ひとりぐらしに向けてがんばりたい。家族が安心して来ることが出来る家がいい」

「ひとりぐらしをするかまだわからないが、こんなお部屋に住んでみたい」



「理想のお部屋」プログラムの様子

■ 作業所訪問

たんぽぽ(就労継続支援B型事業所)への取材。【4月19日】

花音(就労継続支援B型事業所)への取材。【8月30日】

■ うっちい散歩

立川市子ども未来センター内にある「立川まんがばーく」への取材。【4月26日】

上記取材記事については、市内にお住まいの知的障害のある方や団体などに配布し、情報提供を行なっています。(廣瀬 麻美)

私たちの動き (6/1~9/30)

() は担当部門名 CIL・HL・就労・パティオ

【イベント・行事の実施】

(CIL)

- ・男性ILP
「バッチリ決め！決め！メンズファッション」(6/4)
- ・出前講座(西砂小, 明星大)
- ・小中学校出前講座スキルアップ研修(6/14)
- ・内部研修(7/26)
- ・ランチタイム(7/31, 9/19)
- ・知的プログラム(8/3)
- ・講演会「障害者差別解消法の意味と課題」(8/10)
- ・避難訓練(9/27)

(就労)

- ・お楽しみ会(6/21, 9/13)
- ・茶話会(8/10)
- ・家族懇談会(8/31)

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
(6/1, 19, 8/2, 10, 21, 23, 28, 9/13, 19)
- ・立川市自立支援協議会全体会(6/4, 7/3)
- ・立川市災害ボランティアネットワーク(6/19, 7/21, 24)
- ・立川市自立支援協議会生活専門部会(6/27, 9/19)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(7/23, 8/22)
- ・人権擁護委員会(8/21)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
地区別懇談会(8/21, 22, 23)

(HL)

- ・立川市自立支援協議会全体会(6/4, 7/3)
- ・事業所連絡会(6/13)
- ・立川市障害者週間実行委員会(6/21, 7/24, 9/6)
- ・立川市自立支援協議会生活専門部会(6/27, 7/3, 9/19)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会全体会(6/4, 7/3)
- ・都意見交換会(6/18)
- ・多摩就労支援事業委託団体連絡会(7/19, 8/30)
- ・障害者雇用連絡会議(7/20)
- ・立川市自立支援協議会就労部会(7/26)

(パティオ)

- ・立川市地域活動支援センター連絡協議会(6/15, 8/24)
- ・立川市精神保健業務連絡会(6/18, 7/16, 8/20, 9/17)
- ・りらく定例会(6/20, 7/18, 8/15, 9/19)
- ・立川市退院支援会議(7/11)
- ・たちせいれん(7/26)
- ・障害者週間実行委員会(9/6)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・自立生活センター・日野 自立生活プログラム(6/4)
- ・解消法請願デモ(6/5)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を
考える会「野沢和弘さん講演会」(6/8)

- ・柴崎町防災訓練(6/13, 29)
- ・TIL総会(7/2)
- ・たつのこ学齢部会(7/5)
- ・立川防災ボランティア養成講座(7/6, 8/24, 9/7, 21)
- ・考える会主催 差別禁止法勉強会(7/10)
- ・「立川駅北口西側再開発計画3者話し合い」(8/9)
- ・相談支援従事者指導者養成研修(9/9)
- ・自治会連合会(9/28)
- ・六小防災訓練(9/30)

(就労)

- ・八王子ふらん研修(6/7, 9/27)

【外部からの見学・研修・イベント】

(就労)

- ・特別支援学校見学(武蔵台, 南大沢, 羽村, 永福学園)
- (パティオ)
- ・実習生(昭和の森看護学校 2名, 杏林大学 2名,
武蔵野大学 1名)

【講師派遣】

(CIL)

- ・明治学院大学(6/18)
- ・図書館流通センター職員研修(6/26)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修(7/16, 17)
- ・立川市教員委員会研修(7/30)
- ・いわきCIL防災ILPプログラム(9/3)
- ・バリアフリー障害当事者リーダー養成研修(9/4)
- ・東京都相談支援従事者現任研修(9/9)
- ・ユニバーサルボランティア研修会(9/10)
- ・東京都相談支援従事者現任研修
ファシリテーター(9/18, 19)

(パティオ)

- ・明治学院大学(7/2)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

出浦洋洲 様	小川慶子 様	尾形政二 様
真島 紘 様	細金久生 様	西山三枝子 様
関 律子 様	鴨池敏子 様	堀田哲一郎 様
小林恵一 様	井上芳子 様	齋藤明子 様
鈴木正子 様	野上和之 様	石渡和実 様
小林正直 様	石射順子 様	諸井美帆 様
匿名 4名	(順不同)	

～ 新人紹介 ～

宮坂 ^{あゆみ} 歩(み) 5月よりパティオに入職致しました。
がんばりますので皆さんよろしくお願ひします！

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://www.sh.rim.or.jp/~cilt>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp